

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-124416

(43)Date of publication of application : 17.05.1989

(51)Int.Cl.

A47G 29/00

(21)Application number : 62-283935

(71)Applicant : YKY:KK

(22)Date of filing : 10.11.1987

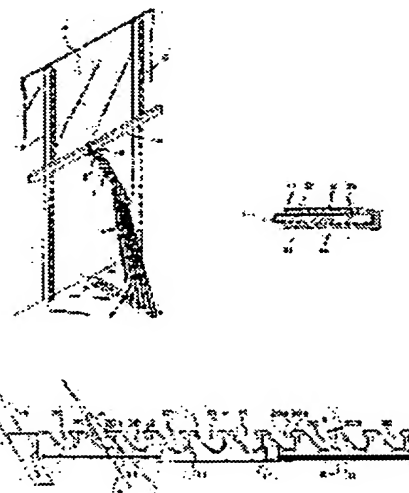
(72)Inventor : YAMAMOTO HEIHACHIRO
NISHI KAZUSHI
KASAHARA KATSUhide

(54) SUPPORT APPARATUS

(57)Abstract:

PURPOSE: To enhance desired display or hanging effect by providing a mounting member having recessed parts continuously formed thereto and the attaching brackets connected to the horizontal arm members or vertical post members integrally provided to the base end of a base member.

CONSTITUTION: A base member 1 is constituted by continuously forming a large number of corrugated recessed parts 10 to one side part 1a thereof. A mounting member 2 is formed of a material rich in elasticity so that the cross-sectional shape thereof becomes a lateral fine width U-shape and arranged so as to be separable to one side part 1a of the base member 1. An attaching bracket 3 is utilized to connect the base end 1b of the base member 1 to a horizontal arm member 4 and, when a shaft article A is displayed, the shaft article A is arranged so as to be provided in the recessed part 20 of the mounting member 2. By this constitution, since the shaft article A is brought into contact with the mounting member 2 rich in elasticity and not directly brought into contact with the hard base member 1, a collision sound is not generated at a time of contact or trouble such as the peeling of coating by the repetition of contact is eliminated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-124416

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)5月17日

A 47 G 29/00

Z-7909-3B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

⑮ 発明の名称 支持装置

⑯ 特 願 昭62-283935

⑰ 出 願 昭62(1987)11月10日

⑱ 発 明 者 山 元 平 八 郎 東京都豊島区池袋2丁目13番2号 株式会社ワイケイワイ内

⑲ 発 明 者 西 一 志 東京都豊島区池袋2丁目13番2号 株式会社ワイケイワイ内

⑳ 発 明 者 笠 原 勝 英 東京都豊島区池袋2丁目13番2号 株式会社ワイケイワイ内

㉑ 出 願 人 株式会社ワイケイワイ 東京都豊島区池袋2丁目13番2号

㉒ 代 理 人 弁理士 天 野 泉

明 細 書

1. 発明の名称

支持装置

2. 特許請求の範囲

(1) 自己支持性に富む細巾長尺の板状体からなると共にその一側辺部に波形凹部を連続形成してなる基部材と、弾性に富み上記基部材の一側辺部に分離可能に配設されると共に上記波形凹部に略一致する凹部を連続形成してなる表装部材と、上記基部材の基端に一体に連設され水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材に着脱自在あるいは固定的に連結されるように形成された取付ブラケットとを有してなることを特徴とする支持装置。

(2) 取付ブラケットは該取付ブラケットによって基部材が水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材に連結される際に上記基部材の一側辺部とこれに対応する上記水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材との間の角度が鈍角となるように上記基部材の基端に連設されてなる

特許請求の範囲が1項記載の支持装置。

(3) 表装部材は該表装部材に連続形成される凹部の開口方向が水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材の軸線方向に一致若しくは略一致する方向とされてなる特許請求の範囲が1項記載の支持装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、支持装置に関し、特に、ゴルフクラブや釣竿等のシャフト物の陳列あるいはハンガー等のフック物の吊持に適する支持装置に関する。

〔従来技術とその問題点〕

ゴルフクラブや釣竿等のシャフト物の陳列あるいはハンガー等のフック物の吊持にあつては、上記シャフト物同志あるいはフック物同志が接触したりして、陳列状態が煩雑になつたり、あるいはその取り出しが簡単容易に行なわれなかつたりする不都合を予め防止するために、所謂支持装置が利用されている。

ところで、従来から提供されている支持装置には、長尺の金属棒を整列状態に溶接して、所謂櫛状に形成したもの、あるいは細巾長尺の金属板あるいはプラスチック板の側面部に凹部を多数連続形成したもの等がある。

ところが、上記櫛状のものは、長尺および短尺の金属棒の溶接作業が多時間に亘り、その溶接部の整形作業等を含めて、作業時間が大巾に増大されることが生産性に欠けると共に、コスト的にも極めて不利となる。

これに対して、金属板やプラスチック板の側面部に凹部を打ち抜き作業等で形成する場合には、作業時間は極めて短くなる利点があるが、所謂バリ取り作業を要することになり、結果的には作業時間の短縮とこれに伴うコストの低廉化を期待できない欠点がある。

そして、上記のいずれの提案にあつても、前記シャフト物やフック物を配置したり、取り出したりするときに支持側と陳列吊持物との間における相互の接触で金属音等の衝突音が発生さ

れたり、また、シャフト物やフック物に塗装が施されている場合には、上記接触の繰返しで該塗装が剥がれたりする不都合もある。

一方、前記のシャフト物を陳列したりフック物を吊持したりするときには、後方に陳列吊持されているシャフト物等がその前方に陳列吊持されているシャフト物等によつて所謂視界を妨げられないようにすることも肝要となるが、その配慮がされていないのが従来からの支持装置でもある。

それ故、看者をして後方の陳列物を見るためにあるいは取り出すために近隣するシャフト物同芯等を接触させることがあり、これがため騒音が発生されたりあるいは上記塗装落ちが招かされたりすることになつている不都合もある。

そこで本発明は、前記したような現状に鑑み、その目的とするところは、シャフトやフック物等の陳列吊持にあつて、その陳列吊持状況が看者して見易くなり、かつ、上記シャフトやフック物の配置や取り出し時の接

触による衝突音の発生や塗装落ちの不安がなく、所望の陳列や吊持の効果を向上させることを期待し得て、しかも、その製作コスト的にも極めて有利となる支持装置を新たに提供することを目的とする。

〔問題点を解決するための手段〕

上記の目的を達成するために、本発明に係る支持装置の構成を、自己支持性に富む細巾長尺の板状体からなると共にその側面部に波形成凹部を連続形成してなる基部材と、弾性に富み上記基部材の側面部に分離可能に配設されると共に上記波形成凹部に略一致する凹部を連続形成してなる表装部材と、上記基部材の基端に一体に連設され水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材に着脱自在あるいは固定的に連結されるように形成された取付ブラケットとを有してなることを特徴とするとしたものである。

〔作用〕

打ち抜き形成された基部材の基端に取付ブラケットを連設すると共に、上記基部材の側面

部に加圧形成等された表装部材を配設し、これを水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材に連結するのみで所望の支持装置が得られる。

また、基部材を水平アーム部材に水平横向き傾斜状に連結するとき、ゴルフクラブや釣竿等のシャフト物を表装部材の凹部に臨在させ、後方視界を妨げず該シャフト物を縦置き状態に陳列させることを可能にする。

そして、基部材を垂直ポスト部材に前向き傾斜状態に連結するとき、ハンガー等のフック物を前側下り状態に吊持させることを可能にする。

さらに、左右一対の基部材を左右一対の垂直ポスト部材にそれぞれ前向き傾斜状態に連結するとき、上記左右一対の基部材間にゴルフクラブや釣竿等のシャフト物を前側下りで横置き状態に陳列させることを可能にする。

そしてまた、前記の各陳列吊持にあつて、基部材の側面部に配設された表装部材の凹部にシャフト物等が配在されるので、その弾性によるクッション効果が衝突音の発生や塗装の剥

げ落ちが防止される。

〔実施例〕

以下、図示した実施例に基いて、本発明を説明する。

図1図に示すように、本発明の一実施例に係る支持装置は、基部材1と、表装部材2と、取付ブラケット3とを有してなり、該取付ブラケット3によつて上記基部材1が水平アーム部材4に連結されるとしている。

基部材1は、自己支持性に富む細巾長尺の板状体からなり、本実施例にあつては、金属板からなるとしているが、これに代えて、プラスチック板を利用するとしてもよい。

上記基部材1は、図2図にも示すように、その一側辺部1aに、波形凹部10が連続して多数（本実施例では10個）形成されてなる。

該波形凹部10は、その平面形状がその開口側において大きく拡開されることになるような形状に形成されているとし、後述する表装部材2を上記一側辺部1aに配設し易いようにして

同じく10個）連続形成されている。

上記凹部20は、前記波形凹部10に比較して、異なつた平面形状を呈するように形成されている。

即ち、上記凹部20は、その巾寸法が全体的に細巾となるように、即ち、前記波形凹部10はその開口が底側の寸法に比較して大きく拡開されるように形成されているに対して、上記凹部20の開口は、底側の巾寸法と同じ寸法となるようにしている。

そして、上記凹部20の開口方向は、後述する水平アーム部材4の軸線方向に略一致する方向とされている。

即ち、上記凹部20を形成する一つの側辺部20aの延圧方向（図2図中符号aで示す）は、上記水平アーム部材4の軸線方向（図2図中符号bで示す）と交叉する方向とされ、かつ、該交叉角は本実施例にあつて略1.0度とされている。

従つて、本実施例にあつて、上記凹部20の

いる。

上記基部材1の基端1bには、後述する取付ブラケット3が連設される。

表装部材2は、弾性に富む例えば合成ゴムあるいはシリコン樹脂等で形成され、図3図に示すように、その横断面形状が横向きの細巾U字状となるように形成されている。

上記表装部材2は、前記基部材1の一側辺部1aに分離可能なように配設されるもので、該配設は、上記表装部材2の空間部2a内に上記一側辺部1aを挿入させるようにして行なわれる。

それ故、上記表装部材2は、上記空間部2aの内側寸法が前記基部材1の肉厚寸法と一致するかやや小寸法となるように形成されていることが望ましい。

上記表装部材2には、図2図に示すように、前記基部材1の一側辺部1aに形成されている波形凹部10に略一致する凹部20が多数（本実施例にあつては、上記波形凹部10の個数と

開口は、前記波形凹部10の拡開傾向に形成された開口に比較して拡開されない傾向に形成されていることおよびその開口方向が水平アーム部材4の軸線方向に略一致する方向とされていること、即ち、上記開口方向が基部材1の巾方向に対して斜交する方向とされていることから、該凹部20内に臨在される例えばゴルフクラブ等の陳列物たるシャフト物Aが図1図中に見る所謂横方向に簡単に脱落されることがなくなる。

そして、上記凹部20を形成する角部20bは、該表装部材2を形成する合成ゴムあるいはシリコン樹脂のみの固まりになり、該角部20bにシャフト物A等が接触されることになつても、該シャフト物A等に傷付きや接触物相互間の衝突音発生等を予め防止することになる。

そしてまた、上記凹部20内にシャフト物A等を配置するとき、該シャフト物A等が上記凹部に比較的高速で接触されることになつても、その際の衝突音の発生が未然に防止される。

さらに、上記凹部20は、弾性に富む、即ち、

外力で容易に変形し易いように形成されているので、シャフト物A等が接触されるとき、所謂接触摩擦が大きくなり、それ故、シャフト物A等の静止状態での安定を得易いことになる。

上記した実施例にあつて、表装部材2はその空間部2a内に基部材1の一侧辺部1aを挿入させるようにして、該表装部材2の配設を実現するとしているので、該表装部材2は図2図中に見る横方向にこれを引くことにすれば、簡単に基部材1から分離することができる。

なお、上記表装部材2の基部材1への配設時にその安定性をより得るようにするため、図2図中に破線図で示すように穿孔11を適宜に形成すると共に、表装部材2側には図3図中破線図で示すように、上記穿孔11内に案内される柄状突起21を相応数形成するとしてもよい。

また、前記した実施例にあつて、基部材1の波形凹部10および表装部材2の凹部20は、共に10個とされているが、これは、ゴルフ競技において、最近ではアイアンが10種利用さ

一緒に連結される。

それ故、本実施例に係る取付ブラケット3にあつては、水平アーム部材4に対する基部材1の連結位置を自在に設定することが可能になる。

上記した実施例にあつては取付ブラケット3は、所謂着脱自在に形成されているとするものであるが、これに代えて、所謂固定式に形成されているとしてもよい。

即ち、図5図に示すように、逆L字状の断面を有するように形成された取付板32の短辺部32aの上面を基部材1の基端下面に溶接等で連結すると共に、その長辺部32bに穿設されたビス孔32c内にビス33を挿通し、かつ、該ビス33を水平アーム部材4にネジ込むことによつて、上記基部材1を水平アーム部材4の所定位置に固定的に連結するとしてもよい。

水平アーム部材4は、前記取付ブラケット3の本体30の内側形状に略一致する外形を有し、前記基部材1が適宜間隔で多数配設されるように比較的長尺に形成されていれば足りる。

れることがあることに鑑みたからであり、従来通り9種のアイアンとされる場合には、上記

10個に代えて、9個とされるとしてもよい。

取付ブラケット3は、図2図に示すように、前記基部材1の基端1bに所謂斜めに、即ち、前記基部材1の軸線方向と該取付ブラケット3の軸線方向とが直交しないように取り付けられている。

それ故、該取付ブラケット3を利用して、基部材1の基端1bを前記水平アーム部材4に連結すると、図1図に示すように、上記基部材1が水平横向き傾斜状態に該アーム部材4に連結されることになる。

上記取付ブラケット3は、本実施例にあつては、図4図に示すように、水平アーム部材4を略囲み得るように形成された本体30と、該本体30の下辺部30aに螺装された締付ネジ31とを有してなる。

そして、上記本体30の上辺部30bの上面に前記基部材1の基端下面が溶接等の固定手段で

そして、本実施例にあつては、角パイプからなるとしているが、角柱とされるものであつてもよく、また、前記取付ブラケット3の本体30の形状にもよるが、他の多角柱や偏平円柱等とされるものであつてもよい。

上記水平アーム部材4は、本実施例にあつては、壁W等に平行して縦に配設されたガイドレールGに副つてその上下位置が自在に設定され得るように保持されているとしている。

以上のように形成されている本発明に係る支持装置に、例えばゴルフクラブ等のシャフト物Aを陳列するときには、表装部材2の凹部20内に上記シャフト物Aが臨在されるように配置する。

これによつて、シャフト物Aは、弾性に富む表装部材2に接触されて、硬い基部材1に直接接触されることがないので、上記接触時に衝突音の発生や、該接触の繰り返しによる塗装剥げ落ち等の不都合が無くなる。

また、表装部材2に形成されている凹部20

はその開口が水平アーム部材4の軸線方向に略一致する方向とされて、即ち、水平アーム部材4の方へ向くように開口されていて、基部材1の巾方向に沿うように開口されていないので、上記シャフト物Aの陳列時にこれが簡単に前側に脱落してくることがない。

さらに、基部材1は、水平アーム部材4に対して、水平横向き傾斜状態で配設されているので、該基部材1に配設された表装部材2の各凹部20内にシャフト物Aをそれぞれ配置するとしても、前方のシャフト物Aが後方のシャフト物Aの視界（ゴルフクラブにあつては、ヘッド部背面の視界）が妨げられないことになり、看者をして極めて見易い状態になる。

そして特に、上記シャフト物Aの陳列にあつて、オ1図に示すように、下方に多孔安定板Pを配設するようにすれば、該安定板Pの孔P内にシャフト物Aの基端（ゴルフクラブにあつては、グリップ）を案内して、上記シャフト物Aの傾斜角を自在に調整し、これによつて、上記

取付ブラケット3利用で連結するとするものである。

この場合に基部材1の波形凹部10は勿論表装部材2の凹部20も上方を向くこととなるように配設されることになる。

即ち、本実施例において、基部材1は前向き傾斜状態に垂直ポスト部材5に対して保持されることになり、従つて、上記表装部材2の凹部20内には、ハンガー等のフック物Bが吊持されることになる。

そして、この場合においても、前記と同様に、衝突音が発生されず、塗装等の剥げ落ちの不安もない上に、特に、表装部材2が弾性に富むが故にその大きい接触摩擦によつて上記フック物Bの徒らな揺れが招来されないことになる利点がある。

オ7図は本発明のさらに他の実施例を示すものであつて、左右一対とされる垂直ポスト部材5に左右一対とされる基部材1をそれぞれ取付ブラケット3利用で連結するものである。

シャフト物Aの先端（ゴルフクラブにあつてはヘッド）の視界を自在に調整することが可能になる。

前記した実施例にあつて、基部材1は、オ1図中左方寄りに傾斜するように水平アーム部材4に連結されるとしているが、これは、シャフト物Aが所謂右利き用のゴルフクラブであると想定していることに鑑みたものであつて、従つて、上記基部材1がオ1図中右方寄りに傾斜するように水平アーム部材4に連結されるとして、本装置を所謂左利き用のゴルフクラブの陳列用に利用するとしても良いこと勿論である。

この場合に、基部材1は所謂裏返しにされて取付ブラケット3に連結されることになると共に、表装部材2における凹部20が、オ1図左方向を向くこととなるように該表装部材2が上記基部材1に配設されることになるのは勿論である。

オ6図は、本発明の他の実施例を示すものであつて、垂直ポスト部材5に基部材1の基端を

この場合には、前記オ6図の実施態様を左右一対となるようにし、かつ、各基部材1の間におけるレベルを同一にするようにしたものであり、従つて、上記基部材1に配設される表装部材2の凹部20はそれぞれが上方を向いていることになり、それ故、左右同レベルの凹部20間に釣竿等のシャフト物Aを掛け渡すこととして、該シャフト物の横書き状態での陳列が可能になる。

〔発明の効果〕

以上のように本発明によれば、陳列物の配置や取り出しの際に、所謂衝突音の発生が未然に阻止されると共に、上記衝突の繰り返しによる陳列物の塗装が剥げ落ちるような不都合を未然に防止することが可能になる。

また本発明によれば、多数の商品の陳列をする際に、前方の陳列物によつて後方の陳列物の視界が妨げられることがないので、看者をして極めて見易くすると共に、ショーウィンド等の直接手に触れることが困難な状態でも、陳列物

の有り様をそのまま見せることができることになる利点もある。

さらに、本発明によれば、表装部材に形成されている凹部が後方の水平アーム部材あるいは垂直ポスト部材の方へ向き加減に位置決められることになるので、陳列物の前方への脱落等が招来される不都合がなくなる利点がある。

そして、本発明によれば、表装部材が基部材から自在に分離し得るので、合成ゴムで形成された黒色系の表装部材に代えて、シリコン樹脂でカラフルに形成された表装部材を用途等に応じて適宜に取り替えることができ、その汎用性の向上を図り得る。

そしてさらに、本発明によれば、表装部材を弾性に富む材料で形成するので、大きな接触摩擦を期待し得ることになり、その結果、陳列物の配置の際に、該陳列物が吊持されるときにも徒らに揺動されず、安定して陳列状態が得られることになる利点もある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す全体斜視図、第2図は本発明の要部のみを示す平面図、第3図は本発明の要部を第2図中の線II-IIで示す拡大断面図、第4図は取付ブラケットを示す部分斜視図、第5図は取付ブラケットの他の実施例を示す部分斜視図、第6図および第7図はそれぞれ本発明の他の実施例を示す全体斜視図である。

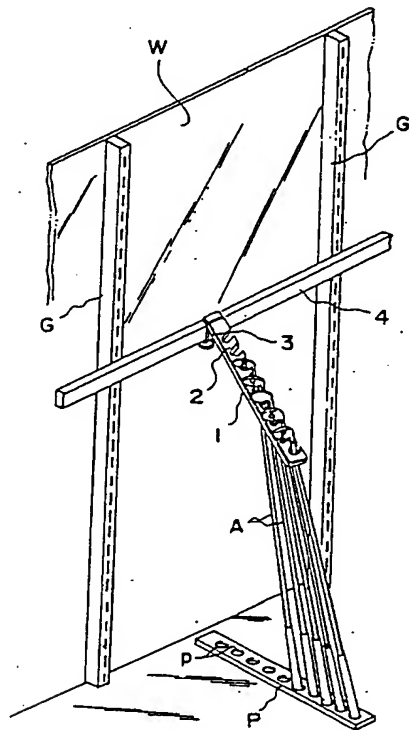
〔附号の説明〕

1・・・基部材、1a・・・端部、1b・・・基礎、2・・・表装部材、3・・・取付ブラケット、4・・・水平アーム部材、5・・・垂直ポスト部材、10・・・波形凹部、20・・・凹部、A・・・シャフト物、B・・・フック物。

代理人弁理士

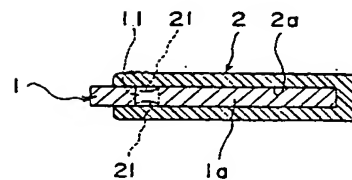
天 野

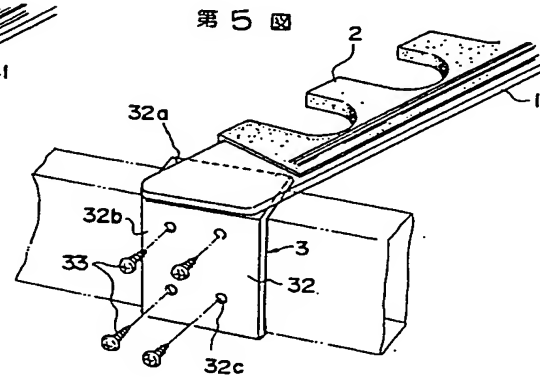
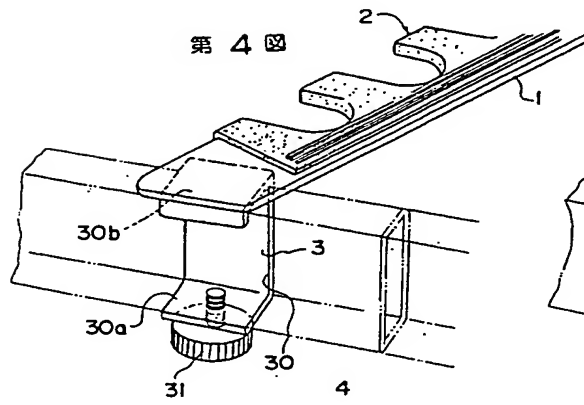
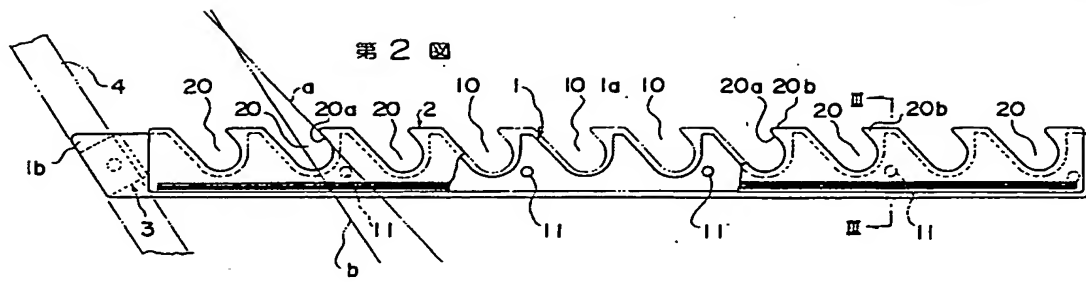
泉



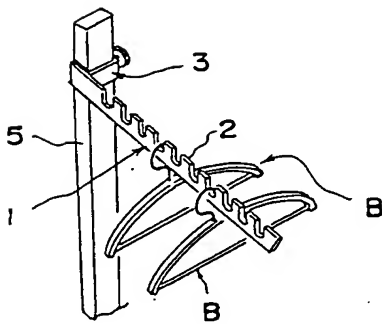
第1図

第3図





第6図



第7図

